

枚方淀川探鳥会 2026年9月

8月2日の定例探鳥会は夏休みにしましたので、久しぶりに探鳥会になりました。最近一週間は雨予報が続いていますが、どうでしょうか。

2026年(令和8年)9月6日(日) 9:00～12:00

日本野鳥の会大阪支部

前田初雄、甲田正二、西脇淳浩、香月清宏

松井正夫、新名泰博、平 軍二 (☎090-6901-1425)

I 今月の鳥アオサギ



アオサギ 20260705(平軍二)

①アオサギ ペリカン目サギ科アオサギ属

L 93cm 漢字名 蒼鷺 学名 *Ardea cinerea*

英名 Grey Heron

アオサギは枚方淀川探鳥会ではほぼ毎月観察できる鳥。淀川で観察できる鳥では最も大きいので、遠くにもよくわかる鳥。平は図鑑に書かれている繁殖分布図の地域区分

①繁殖期に生息する地域 ■ ②周年生息する地域 ■

③非繁殖期(冬季)に生息する地域 ■

が、わかりやすいので、2000年に平凡社発行の写真図鑑 真木広造・大西敏一「日本の野鳥590」を利用してきた。

2000年鳥類目録第6版までは、鳥の姿かたちで分類されていたが、2012年第7版では遺伝子解析結果がベースとなり、サギ科はコウトリ目からペリカン目へ変更された。

②大阪府のアオサギ

(大阪府鳥類目録 2016)

大阪府では留鳥として一年中観察され、大阪府内全域で繁殖している。

④世界のウグイス 2000年平凡社 真木広造・大西敏一 (日本の野鳥590)

ユーラシア大陸の温帯に繁殖地、熱帯及びアフリカ

大陸南部には留鳥として生息、アフリカ大陸中央部に非繁殖期の生息地がある。



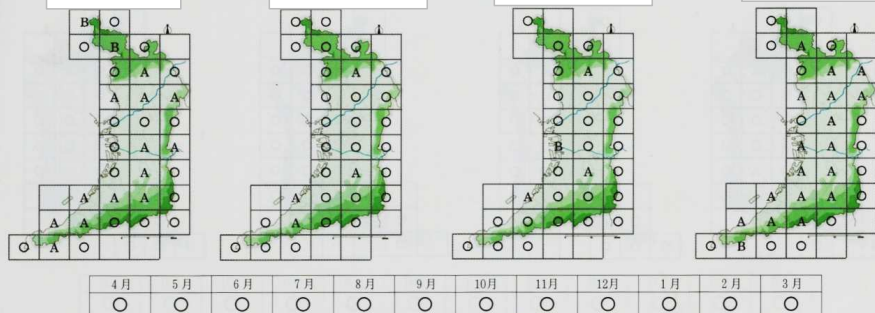
74. アオサギ *Ardea cinerea* ● 留鳥

夏5/20～7/20

秋7/21～11/30

冬12/1～2末

春3/1～5/19



③日本のアオサギ全国鳥類繁殖分布調査(鳥類繁殖分布調査会2021年)

留鳥として全国で繁殖する。北海道では夏鳥。ほかのサギ類に先がけて本州では2月から繁殖を開始する。1970年代では主に北海道や日本海側で繁殖するサギだったが、その後

分布を拡大し、現在は全国どこでも繁殖する鳥となっている。

アオサギ 分類: ペリカン目サギ科 Grey Heron *Ardea cinerea*

全長: 90-98cm 翼長: ♂440-485mm ♀428-463mm 尾長: ♂136-172mm ♀132-153mm 体重: ♂1071-2073g ♀1017-1773g

環境省レッドリスト: —

各年代の分布状況の変化

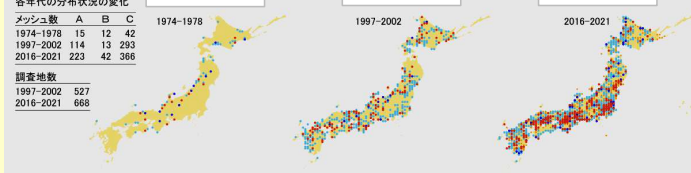
メッシュ数	A	B	C
1974-1978	15	12	42
1997-2002	114	13	293
2016-2021	223	42	366

調査地数
1997-2002 527
2016-2021 666

1974-1978

1997-2002

2016-2021



II 2026年7月探鳥会結果

天気予報では11時過ぎから雨が予想されること、淀川本流の水面が上昇しており下流側の低水敷にある「多自然池」周辺は通行できそうにないことから、高水敷の天野川上流部のみの短縮コースとした。



オオヨシキリ



ヒヨドリ

天野川は魚道近くまでは本流と同じ水面が続いていたが、アオサギ・ダイサギ・コサギなどを見ることができた。河川敷で元気よく歌っているのはウグイス、そして黒田川の橋からは正面の鉄塔上のハヤブサ、河川敷のヨシや木々にさえずる、ホオジロ・カワラヒワ・オオヨシキリなどを見ることができた。

磯島グランドで鳥合わせ中にぼつぼつ降り始めたため、すぐに終了とした。

Ⅲ 探鳥会観察チェックリスト(第8版)

観察回数は、平が担当した2012年1月～昨年2024年12月までの13年間の観察回数です。
100回以上は留鳥、50回前後は冬鳥or夏鳥、10回以下は珍鳥？

第8版	科名	鳥名	観察回数	2025								第5次RL	第8版
				9	10	11	12	9	10	11			
				7	5	2	7	6	4	1	ランク	第4次	変化
12	カモ	マガン	1										12
18		ツクシガモ	3		雨								18
23		トモエガモ	2		天	○							23
24		シマアジ	1		中								24
26		ハンビロガモ	9		止		1						26
27		オカゴンガエ	52				55						27
28		ヨシガモ	21										28
29		ヒドリガモ	48										29
30		アメリカヒドリ	6										30
32		カルガモ	97			○	1						32
33		マガモ	58			○							33
34		オナガガモ	8										34
35		コガモ	62										35
39		ホシハジロ	46				31				NT	無	2+
40		アカハジロ	6								CR	DD	4+
41		メジロガモ	1										41
43		キンクロハジロ	47			○	258				VU	無	3+
44		スズガモ	7			○	2						44
56		ミヨアイサ	2										56
58		カワアイサ	50				6						58
59		ウミアイサ	3										59
64	キジ	キジ	54	1		○	2						64
69	アマツバメ	アマツバメ	2								VU	無	3+
80	カッ	ホトギス	2										80
82	コウ	ツツドリ	2										82
83		カウコウ	1										83
89	ハト	キジバト	123	4		○	3						89
96	クイナ	クイナ	12										96
100		バン	23								VU	無	3+
101		オオバン	55			○	94						101
103		ヒクイナ	7										103
117	カイツ	カイツブリ	51			○	11						117
119	ブリ	カンムリカイツブリ	64			○	23						119
121		ハジロカイツブリ	4										121
127	チドリ	タゲリ	1										127
128		ケリ	27										128
134		イカルチドリ	9										134
135		コチドリ	32										135
136		シロチドリ	4								VU	VU	—
144	シギ	チュウシャクシギ	2										144
163		トウネン	1		雨						NT	無	2+
165		ハマシギ	1		天						VU	NT	1+
183		タシギ	5		中								183
188		イソシギ	89	2	止	○	2						188
190		クサシギ	3										190
192		キアシシギ	2										192
198		アオアシシギ	1										198
213	カモメ	ユリカモメ	22										213
221		ウミネコ	3								VU	無	3+
222		カモメ	3										222
226		セグロカモメ	20										226
233		コアシサシ	9								EN	VU	1+
270	アビ	シロエリオオハム	1										270
315	ウ	カワウ	122	57		○	9						315
319	トキ	ヘラサギ	1								EN	DD	2+
320		クロツラヘラサギ	1										320
328	サギ	ゴイサギ	10				1				VU	無	3+
330		ササゴイ	18								VU	無	3+
332		アマサギ	3								EN	無	4+
333		アオサギ	124	4		○	7						333
335		ダイサギ	120	3		○	12						335
337		コサギ	111	8		○	9				VU	無	3+
343	ミサゴ	ミサゴ	75			○	4						343
344	タカ	ハチクマ	2										344
352		ツミ					1						352
353		ハイタカ	36				4				NT	NT	353
354		オオタカ	27								NT	NT	354
355		チュウヒ	2								EN	EN	355
356		ハイロチュウヒ	1										356
359		トビ	102	1		○	2						359
363		サシバ	1								VU	VU	363
366		ノスリ	37										366
371	フクロウ	オオコノハズク	1										371
384	カワセミ	カワセミ	106	2		○	3						384
389		アリスイ	10										389
390	キツ	コゲラ	102	1									390
394	ツキ	アカゲラ	6										394
402	ハヤブサ	チョウゲンボウ	57			○	1						402
407		ハヤブサ	31			○	2				VU	NT	1-

Ⅳ 次回10月4日(日)

午前9時 ラポールひらかた前

今日と同じようにHPの専用フォームからお申し込みください。

秋の渡りの最盛期、野鳥通り(仮称)に樹林が残っていたころは
キビタキも期待できたのですが。

と言いつつ、伐採後の2024年10月探鳥会では、サメビタキ3種
エゾビタキ・サメビタキ・コサメビタキが観察できました。

(サメビタキは13年間の初記録)



20241006 エゾビタキ(西脇淳浩)

第8版	科名	鳥名	観察回数	2025				2026				第8版
				9	10	11	12	9	10	11	第5次RL	
				7	5	2	7	6	4	1	ランク第4次変化	
411	サンショウクイ	サンショウクイ	1									411
419	カリサキヒタキ	サンコウチョウ	1		雨							419
425	モズ	モズ	114	1	天	○	12					425
435	カラス	ハシボソガラス	125	6	中	○	57					435
436	ス	ハシボソガラス	118	3	止	○	3					436
440	シジュウカラ	ヒガラ	1									440
442		ヤマガラ	7									442
447		シジュウカラ	111	3		○	4					447
448	ツリスガラ	ツリスガラ	1									448
450	ヒバリ	ヒバリ	68									450
456	ヒヨドリ	ヒヨドリ	125	2		○	215					456
458	ツバメ	ショウドウツバメ	6									458
461		ツバメ	64	5								461
462		イナツバメ	54			○	60					462
463		コシアカツバメ	23	2		○						463
464	ウグイス	ウグイス	119			○	2					464
467	エナガ	エナガ	93				1					467
476	ムシクイ	センダイムシクイ	7									476
479		エゾクシクイ	1									479
481		ホソムシクイ	5									481
482		オオムシクイ	5							EN 無	4+	482
484	ヨシキリ	オオヨシキリ	33									484
485		ヨシキリ										485
497	セッカ	セッカ	32									497
501	メジロ	メジロ	103	4			4					501
502	キクイタダキ	キクイタダキ	8									502
507	ムクドリ	ムクドリ	113	28		○	55					507
509		コムクドリ	5									509
512		ホソムクドリ	2									512
525	ツグミ	マミチャジナイ	1									525
526		シロハラ	54									526
527		アカハラ	2									527
531		ツグミ	60			○	4					531
532		ハチジョウツグミ										532
533	ヒタキ	エビタキ	9									533
534		ササタキ	2									534
537		コササタキ	18									537
539		オオルリ	4									539
543		ノゴマ	1									543
550	ヒタキ(雄)	キビタキ	16									550
554		オジロビタキ	1		雨							554
556		ルビタキ	1		天							556
561		ジョウビタキ	60		中	○	3					561
564		イトヨリ	39	2	止	○						564
568		ビタキ	13									568
575	スズメ	スズメ	125	30		○	80					575
584	セキレイ	キセキレイ	42			○	3					584
585		ハクセキレイ	116			○	14					585
586		セグロセキレイ	109	3		○	3					586
585		セノリ	35			○						585
597	アト	アトリ	29									597
598		シメ	42			○	5					598
600		イカル	17									600
606		ベニマシコ	44				3					606
608		カワラセ	114	2		○	7					608
613		マヒワ	6									613
618	ホオジロ	ホオジロ	119	1		○	4					618
622		ホオアカ	6									622
625		カンラダカ	23							EN 無	4+	625
626		ミヤマホオジロ	1									626
633		アオジ	70			○	9					633
637		オオジュリン	17									637
9	キジ	ゴジュケイ	13									9
11	ハト	カラサギ(ハト)	121			○	51					11
30	ムクドリ	ハッカチヨウ	1									30
		カッゴウSP	5									
		アイガモ	3									
		ホソムシクイSP	7									
		ヒタキSP	3									
種数合計(自動計算)				24		42	47					
個体数合計(自動計算)				175			1144					
探鳥会参加者数				12		28	39					
13年間観察回数				1~2回				2012年1月~2024年12月の13年間 ①観察回数の少ない種(1~2回) ②観察回数多い種(100回以上) ③樹林伐採の影響を受けると思われる種				
樹林伐採影響でなくなる種				100回以上								

Ⅲ②環境省第5次レッドリスト

レッドリスト 絶滅危惧ランク

野生絶滅 I A類 I B類 II類 準絶滅 情報不足 無
EW CR EN VU NT DD —

7月度の探鳥会資料に環境省第5次レッドリストを入れ簡単に説明しました。その後、いろんな種のランクを見比べた結果、第5次絶滅危惧ランク設定に2つの流れがあると思われました。

①全国の生息数が数百羽~千羽程度で、絶滅危惧が高いとしてこれまで保護されていた希少種で、生息環境が安定し個体数が少しずつ増えている種については、絶滅危惧ランクが下げられる方向にある。

⇒コウノトリ(CR→EN:1-)、トキ(EW→EN:2-)、タンチョウ(VU→NT:1-)、ミゾゴイ(VU→NT:1-)

②一方、全国の生息数が数万羽レベルと思われ、大阪支部の探鳥会で観察できることから、これまで絶滅の心配が全くないと思っていた普通種が、全国的には生息環境が悪化方向にあり生息数減少レベルが大きいとして、絶滅危惧にランクイン(しかも大幅アップ)した種がある。

⇒キンクロハジロ(無→VU:3+)、パン(無→VU:3+)、コサギ(無→VU:3+)、カンラダカ(無→EN:4+)

そこで今回、枚方淀川探鳥会観察リストに、第5次・第4次レッドリストのランクの変化を付記しましたので、ご確認ください。

V (愛称)野鳥通りの今昔

